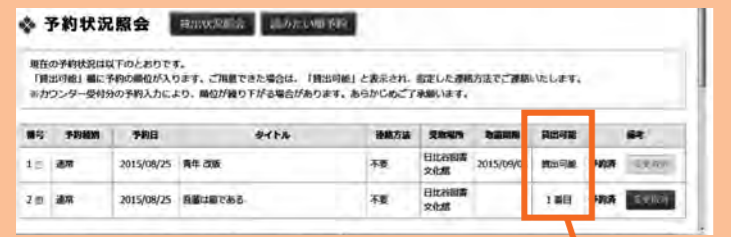


Service News サービス・ニュース

予約状況がホームページでご確認できます
 予約した本が手元に届くまでの順番がわからなくて困った経験はありませんか。こんな時は、日比谷図書文化館のホームページからマイページへログインしていただくと、予約状況照会画面にて確認することができます。



貸出可能の欄に現在の予約順位が表示されます
「貸出可能」 → 受取館にて本のご用意ができています。
「1番目」 → 予約の順位が1番目です。前の方に貸出中、もしくは受取館へ配送中などで、まだ本のご用意はできていません。表示が「貸出可能」になるまでお待ちください。

※館内検索機(OPAC)でも同様にご確認いただけます。
 ※上記のサービスをご利用いただくにあたり、事前にパスワードのご登録が必要です。

専門図書館への入口講座とは?
 さまざまな専門図書館の方を講師にお迎えして、所蔵資料の紹介や効果的な使い方など、専門分野の情報収集の方法について学ぶ講座です。

「機械振興協会BICライブラリ」
 レポートします！
 記念すべき第一回の講座には「機械振興協会BICライブラリ」調査役の結城氏をお迎えしました。専門図書館とは何か、どんな特徴があるのかといった説明の後、機械産業を中心としたビジネス情報を提供しているBICライブラリの紹介があり、参加者のみなさんは熱心にメモを取りながら聴き入っていました。熱気溢れる1時間は盛況のうちに終了しました。

「言葉」と向き合う
 「広辞苑」づくりから考える言葉の自分らしい使い方
 講師：平木 靖成 (岩波書店 辞典編集部部長)

明確な定義を載せる事典に対して、「正解がない」という辞典。辞典編集には、人によって異なる言葉の捉え方を踏まえ、新語や意味・文法の変化を切り取りつつ、規範的な定義と実際との間でバランスを取るといった作業が伴います。最終的には「無難に使える最大公約数」としての語彙を選ぶのだそうです。辞典を言葉の「相談相手」として使って欲しい、という提案が印象的でした。

ZONE PICK UP! 3F ブルーゾーン
 【アート・言語・文学】の本を集めたゾーン

各ゾーン巡回展示 **〇〇論・〇〇史** ~12/18
 まるまる まるまる

図書フロアの4つのゾーンでは巡回展示として「〇〇論・〇〇史」という共通のテーマのもと、各ゾーンの特色を活かしながら、〇〇に当てはまる言葉を選び、関連本の展示を行っています。第2弾のブルーゾーンでは、このゾーンの特徴である「芸術」、「文学」、そして「映画」にジャンルを絞り、随時テーマや資料を入れ替えながら展示をしていきます。

映画 名作論 映画空間論 ニューシネマ論 恐怖映画論など

絵画 生活絵画史 風俗絵画史 イコノグラフィー論 など

文学 詩歌論 言語論 作家論など

10月の展示情報 Exhibit Information

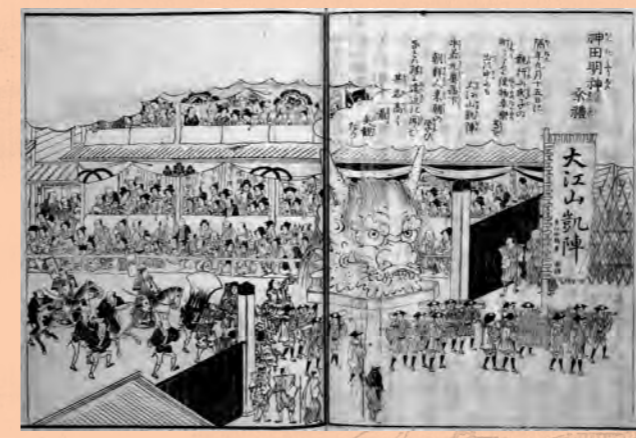
- 各ゾーン巡回展示「〇〇論・〇〇史」**
- 2F パープルゾーン 東京、江戸に関する豊富な資料の中から〇〇論〇〇史と銘打ち展示を行います。風景論、建築論、事件史…など東京、江戸の意外な一面が垣間見えるかもしれません。 **NEW!** (~2016/1/15)
 - 2F オレンジゾーン 日本論、男性・女性論、経済論など社会科学系やビジネス系の本を集積したオレンジゾーンならではの切り口で、随時テーマを入れ替えながら関連本を紹介いたします。(~11/13)
 - 2F ホール 日比谷カレッジ 開館4周年記念講演会 **NEW!** 「歴史の学び方 -なぜ読書をするのか」 関連展示 「松尾豊さんと考える 人工知能は敵か?味方か?」 関連展示
 - 3F ホール 「名著複製全集」複製ではなく、複製。 (ガラスケース) 「千代田区生きものさがし 2015」(~10/4)
 - 3F グリーンゾーン 「私とはなんだろう -アイデンティティ-」(~10/16) 「自分とは何か」をテーマに様々な視点からアイデンティティにまつわる本を紹介しています。

わたしの一冊
「花鳥風月の科学 日本のソフトウェア」
 松岡 正剛 著

もともと花鳥風月のような風景、風情に惹かれて、花鳥風月を「日本のソフトウェア」と位置付けていることに興味を持ち読んでみました。山、道、神、風、鳥、花、仏、時、夢、月のキーワードからひもといえます。むずかしい内容で読了に時間がかかりましたが、奥深い日本の風情を科学的な視点からも存分に堪能できる一冊です。

淡交社 / 1994年
 花鳥風月を中心とした十個のテーマから科学にも自然に通ずるものがあると伝えています。ディープな日本の風情を堪能できます。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌



馬琴と月琴
 千代田の江戸人



会期：平成27年 **10月13日(火)~11月23日(月・祝)**
 ※10月19日(月)・11月16日(月)は休館日、11月4日(水)は展示替のため閉室します。
 展示室開室時間：10:00~20:00(月~金) 10:00~19:00(土) 10:00~17:00(日・祝)
 会場：1階 特別展示室
 問合せ先：日比谷図書文化館 文化財事務室 03-3502-3348

展示構成

- I … 戯作者曲亭馬琴
- II … 曲亭馬琴の生活
- III … 町名主斎藤家と『江戸名所図会』
- IV … 斎藤月琴の文化活動
- V … 馬琴・月琴をとりまく人々

展示解説

- 下記の日程で担当学芸員による展示解説を行います。時間になりましたら、1階特別展示室の入口付近にお集まり下さい。
- ① 10月21日(水) 12:30~
 - ② 10月31日(土) 13:30~
 - ③ 11月11日(水) 18:30~
 - ④ 11月18日(水) 12:30~ (事前申込み不要)

関連講座

- 10/21 14:00~16:00 「『江戸名所図会』の挿絵にみる千代田」 ●講師：鈴木 章生 (日本文学教授)
- 11/7 14:00~16:00 「馬琴・月琴の足あと~神田界隈を歩く~」 ●講師：加藤 紫識 (区学芸員)

本展示では、『南総里見八犬伝』や『椿説弓張月』で知られる戯作者曲亭馬琴(滝沢馬琴、1767~1848)と、『江戸名所図会』『東都歳事記』などの著作で知られる町名主斎藤月琴(幸成、1804~1878)という、千代田ゆかりの2人の「江戸人」を取り上げ、その著作や人物像、2人を取りまく人物関係などを紹介していきます。

●左記講座いずれも→●会場：日比谷図書文化館4階スタジオプラス(小ホール) ●定員：60名 ●受講料：200円 ●申し込み：往復はがきに①講座名、②氏名、③住所、④電話番号を記載し、下記まで郵送してください。(1講座につき1枚、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます) 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 日比谷図書文化館文化財事務室 ●申込締切：10月14日(水)

落語 10月31日(土)15:00~ ※事前申込み不要

左記の日程で1階特別展示室内にて、三遊亭楽麻呂師匠による落語を行います。時間になりましたら、展示室入口付近にお集まり下さい。

calendar 開館時間：平日10時~22時 ■ 土曜10時~19時 ■ 日祝10時~17時 ■ 休館日

2015年 10月							2015年 11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30					



お問合せ先：千代田区立日比谷図書文化館
 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340
 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: http://hibiyal.jp

